

「地域を支える建設業」検討会議

第42回全体会議

(一社)長野県建設業協会 提出資料

○ 要望事項 資料No.1

- 1 公共事業予算の持続的・安定的な確保と工事の円滑な施工について
- 2 改正品確法の市町村への徹底について
- 3 監理技術者の兼務について

○ 報告事項

- 1 令和2年度2級土木施工管理技士準備講座の開催について 資料No.2

「地域を支える建設業」検討会議 第42回全体会議（R3.3.23）

（一社）長野県建設業協会

○ 要望事項等

1 公共事業予算の持続的・安定的な確保と工事の円滑な施工について

政府におかれましては、昨年12月に「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」と令和2年度補正予算案が決定され、国土強靱化5か年加速化対策15兆円のうち、令和3年度分の公共事業費は、15ヶ月予算として、補正予算に事業費約2.4兆円が盛り込まれました。

これらを受け、県におかれましては、2月補正では国の「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」活用分など487億4380万円が計上され、また、令和3年度当初予算において公共事業費は災害復旧事業費を含めて、1,324億円が盛り込まれました。

令和2年度に引き続いての公共事業予算の確保に対しまして御礼申し上げますと同時に、明日の建設業の担い手を確保・育成して、将来に亘り建設業の使命を果たすためには、経営基盤の強化、経営の安定化が必要であり、公共事業予算の持続的・安定的な確保をお願い致します。

令和元年台風第19号及び今年の7月豪雨に伴う災害復旧工事が発注されている中において、今後、2月補正並びに令和3年度当初予算に基づく公共事業が発注されていくにあたり、次に掲げる事項についてご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

- ① 補正予算分の発注工事については、令和3年度末に竣工しなければなりませんので、債務設定やフレックス工期制度の活用などにより、工期並びに監理技術者の登録時期に余裕が持てる工事発注をしていただきますようお願い致します。
- ② 長野県発注工事の発注見通しについて、早期にお示しいただきますようお願い致します。
- ③ 2月4日に開催されました長野県契約審議会において、「防災・減災、国土強靱化5か年加速化対策」への施工確保及び体制強化の取組として、見積を活用した適切な予定価格の設定、特例発注標準と復興JV制度の活用を示されていますが、県下各地域でそれぞれ状況が異なりますので、建設業協会各支部と県現地機関の長とで意見交換を行い地域の実状に合った発注がされるようご配慮をお願い致します。特に、見積徴収については受発注者相互の意思疎通が十分図られますようお願い致します。

2 改正品確法の市町村への徹底について

市町村発注工事も多くなると思いますが、平準化対策や最低制限価格の設定を含めて、改正品確法の趣旨が外郭団体も含めて市町村に徹底されますよう、また、市町村においても、不調・不落対策により公共工事の円滑な施工確保が図られますよう、発注者協議会等を通じて適切な指導、助言をお願い致します。

3 監理技術者の兼務について

建設業法の改正により監理技術者補佐を専任で置いた場合は、監理技術者は2つの工事まで兼務が可能（令和2年10月1日から施行）となりました。監理技術者補佐は1級土木施工管理技士補（令和3年4月1日建設業施行令施行）の資格を有する者、又は1級土木施工管理技士等の資格を有する者となっておりますが、技術者不足が喫緊の課題でありますので、2級土木施工管理技士等さらに要件の緩和を希望するものです。

また、建設業法第7条には、「その営業所ごとに建設工事の施工に関する一定の資格又は経験を有する技術者で専任のものを置かなければならない。」とあります。工事現場と営業所が近接している場合には緩和規定もありますが、技術者不足の中にあって、限りある人材の有効活用という点からも、営業所に置く専任の技術者の規定について、営業所の技術者も現場に配置できるように更なる緩和を希望するものです。

何れも関東地方整備局様にも要望しているところではございますが、長野県様からも国へ伝えていただきますようお願い致します。

令和2年度2級土木施工管理技士準備講座の開催について

○ 講座の開催について

本年度は新型コロナウイルスの感染拡大懸念から、夏休み中の実施が中止となる中、南安曇農業高等学校で2級土木の講座をオンラインによるリモート講習会を10月に行った。

実施日 : 10月17日(土)～18日(日)

受講生徒数 : 25名(3年生)

(参考) 講座の中止の高校

土木 : 長野工業、飯田 OIDE 長姫

建築 : 長野会場(長野工業、丸子修学館、上田千曲)、飯田 OIDE 長姫、
池田工業

○ 2級土木受験結果

試験会場(名古屋・富山)への大型バスによる送迎を毎年行っている。

高校名	受験者(人)	合格者(人)	合格内訳
南安曇農業	27	25	3年25人
長野工業	25	15	3年11人、2年4人
丸子修学館	15	12	3年2人、2年10人
飯田 OIDE 長姫	11	3	3年1人、2年2人
計	78	55	